

エネルギー・環境プラント

主要製品	
エネルギー	●産業用ガスタービン・コージェネレーション ●発電用ガスエンジン・ディーゼル機関 ●蒸気タービン ●空力機械 ●ボイラプラント ●コンバインドサイクルパワープラント
プラント	●産業プラント(セメント、肥料など) ●LNGタンク ●ごみ焼却プラント ●搬送機械 ●トンネル掘削機 ●破碎機
船用推進	●船用ガスタービン・減速装置 ●船用レシプロエンジン ●水力機械

エネルギー・環境プラントカンパニー
プレジデント
渡辺 達也



カンパニービジョン

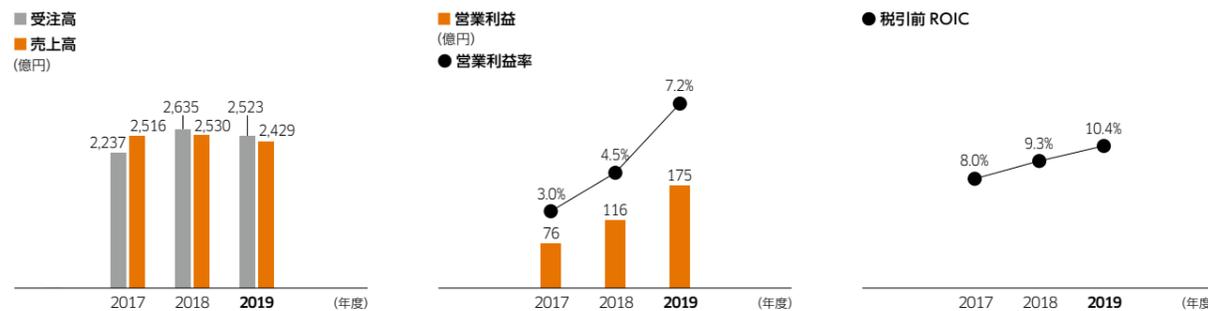
エネルギー環境分野を中心に、高い製品開発力とエンジニアリング能力を基盤とした技術・品質により、地球環境保全に貢献しかつ顧客満足度の高い製品・サービスをグローバルに提供する、特色ある機器・システム・プラントメーカー

機会	リスク
<ul style="list-style-type: none"> ●新興国・資源国におけるエネルギー需要・インフラ需要の増大 ●LNG燃料の価格低下による分散型ガス燃料発電設備への需要の増大 ●環境規制の強化 ●CO₂フリーの各種発電設備の新設・更新需要 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウイルス感染拡大や油価低迷長期化によるプロジェクト案件の停滞 ●新興国・資源国経済の減速に伴う投資意欲の減退 ●海運市況低迷の長期化

コアコンピタンス
<ul style="list-style-type: none"> ●ガスタービン、蒸気タービンおよび排熱回収ボイラを組み合わせたCCPP(Combined Cycle Power Plant)標準パッケージや、ガスエンジン・ガスタービンハイブリッド案件など自社製品の組み合わせによるシナジーを活かしたソリューション提案力 ●環境対応差別化技術とコアハード・システムの開発力、各種プロジェクトで培った総合エンジニアリング力 ●海外拠点の活用による地域に根差した販売体制

事業運営方針

- 環境負荷の低減に寄与する新技術・製品・付加価値の創出
- リソースの活用・共有化によるプロジェクト対応能力強化
- 現地密着・顧客密着の取り組みを通じた海外展開の推進、将来における収益力拡大の基盤を構築



(注) 2018年4月に組織再編を行ったため、2017年度の組替後実績と、2018年度と2019年度の実績を掲載しています。

事業環境と戦略

エネルギー分野では、ガス焼き発電需要が拡大しており、分散型発電のニーズもアジアを中心として中長期的に増加が見込まれます。プラント分野では、東南アジアなどの新興国を中心としたインフラ整備や環境保護意識の高まりにより、国内・海外とも需要は安定的に推移すると見込んでいます。また、船用推進分野においても、GHG排出削減をはじめとした環境対応や船舶運航における安全・脱技能化・運用効率向上などをニーズが増大するものと見込まれます。一方で、新型コロナウイルス感染拡大により顧客の設備投資判断の見直しや延期が発生しているほか、価格競争は依然として激しく、コスト競争力の強化が課題となっています。

このような事業環境の中、当社は付加価値の高いユニークな製品の提供、営業体制およびメンテナンス・アフターサービスの強化などにより、受注の確保を目指します。また、受注にあたっては規模よりも採算性を重視した選別受注を推進するとともに、品質保証体制、リスク管理体制の強化を通じて不良コストを削減し収益性を向上させます。

さらに、自社製のガスタービン、蒸気タービンおよび排熱回収ボイラを組み合わせたCCPP標準パッケージの拡販を目指し、海外での営業体制を強化します。また、将来の事業成長および脱炭素社会の実現に向けて水素関連プロジェクトや製品開発への投資を進めており、2020年内にはパイロット水素サ

プライチェーンの稼働を予定しています。

社会価値を創出する取り組み

エネルギー・環境プラントカンパニーでは、2030年の目指す姿を、エネルギー・環境分野を中心に、高い製品開発力・製造技術力とエンジニアリング力を基盤とした技術・品質によりCO₂フリー・低環境負荷を実現し、かつ顧客満足度の高い製品・サービスをグローバルに提供し、特色ある機器・システム・プラントメーカーとなることと定めています。その実現に向けて、効率・環境性能で世界トップクラスのガスタービンや世界最高性能のガスエンジンなどの発電設備、省エネルギーで資源効率の高い機器類の提供を通じて経済成長と環境保全の両立を目指しています。具体的には、コアハードを組み合わせさらにソフト面のノウハウを織り込むこと、海外案件の対応強化、新たなソリューションの創出に加え、水素事業への経営資源の集中や脱炭素化に対応する製品の推進に取り組んでいます。また、トンネル掘削機や低温貯槽設備を通じてインフラ整備の一翼を担うとともに、省エネルギーのごみ焼却施設や水処理施設、脱硫・脱硝装置などの納入を通じて都市の環境保全にも貢献していきます。



2021年度までの達成像	<ul style="list-style-type: none"> ●電力需要が急増する東南アジアで、世界最高水準の発電効率・省エネルギーを誇る当社の発電プラントの供給の拡大による、新興国の経済発展と環境負荷軽減へのニーズの対応 ●さらなる環境負荷低減効果がある製品の開発、環境規制への対応 ●CO₂排出量の削減に貢献する水素ガスタービン・ガスエンジン開発の推進
2019年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●海外向け常用発電設備納入：14台 ●ガス・ター・ガソリン(GTG)プラント納入：1基



自社開発の発電出力100MW級コンバインドサイクル発電プラント



ガス・ター・ガソリン(GTG)プラント